

パーソナルコンピュータのメールソフトを使って 電子メールを安全に読み書きする方法

-Winbiff-

総合情報基盤センター 田中芳雄

1 はじめに

本記事ではSSLを使ってメールソフトWinbiffを利用する方法を紹介します。

WinbiffはWindows上で動作するメールソフトです。シェアウェアと呼ばれる商用ソフトウェアですが、佐賀大学ではサイトライセンスを取得していますので教職員が大学所有のコンピュータで使用する場合に限り利用できます。ライセンスに関する詳細は総合情報基盤センターまでお尋ねください。

2 設定の前に

本記事では以下の環境を前提に設定を行います。ユーザ名、メールアドレス、受信サーバ、送信サーバは架空のものです。実際のサーバのホスト名は総合情報基盤センターまでお尋ねください。

ユーザID (ログイン名): testuser
メールアドレス: testuser@cc.saga-u.ac.jp
受信方式: IMAP4
IMAP メールディレクトリ: Mail
受信サーバのホスト名: receive.saga-u.ac.jp
送信サーバのホスト名: send.saga-u.ac.jp

Winbiffのユーザー設定を初めから行う方は「3.1 新規ユーザの設定」を、既にユーザー設定をしていてSSL設定を追加したい方は「3.2 既存ユーザのSSL追加設定」をご覧ください。

3 設定

3.1 新規ユーザの設定

Winbiffのユーザー設定が未設定の状態ではWinbiffを起動すると「ユーザー設定ウィザード」が起動します。「次へ」をクリックします。

メール受信方式は「IMAP4」を選択し「次へ」をクリックします。

「IMAPサーバのホスト名」入力欄に受信サーバのホスト名を、「SMTPサーバのホスト名」入力欄に送信サーバのホスト名をそれぞれ入力し、「次へ」をクリックします(図1)。

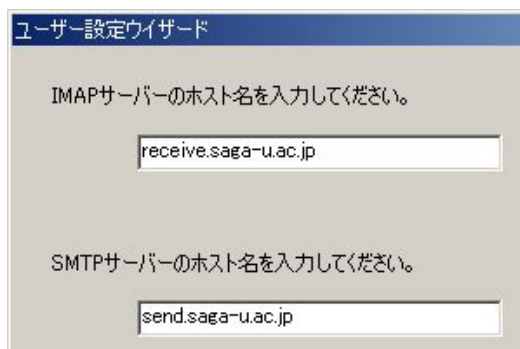


図1: 受信、送信サーバの入力

ログイン名入力欄にユーザIDを入力し、「次へ」をクリックします(図2)。



図2: ユーザID(ログイン名)の入力

メールアドレスと使用者の名前を入力します(図3)。

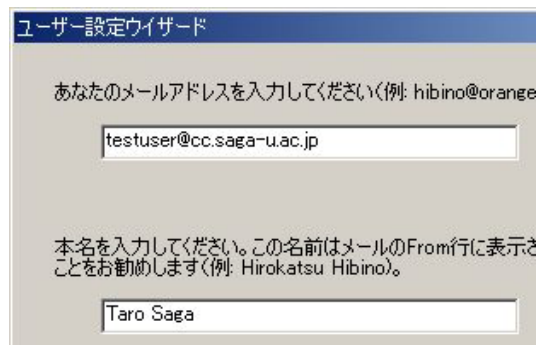


図3: メールアドレスと本名の入力

Winbiffがデータを保存するディレクトリの指定は変更せずに「次へ」をクリックします。

ネットワークの接続方法は「LAN接続」を選択し、「次へ」をクリックします(図4)。

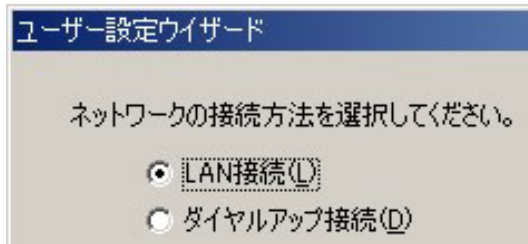


図4: 接続方法の選択

ユーザー設定に名前(アカウント名)を付けます。これは単にここまで行ってきた設定に対して付ける名前ですが、設定後のトラブル対処をしやすくするために、通常はユーザIDを入力すると良いでしょう(図5)。

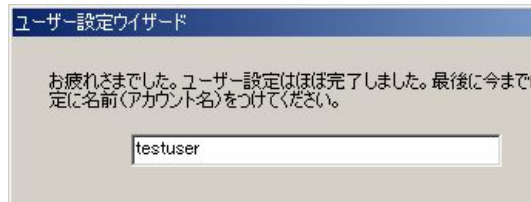


図5: 設定の名前の入力

ユーザー設定が終了したら「完了」をクリックします(図6)。

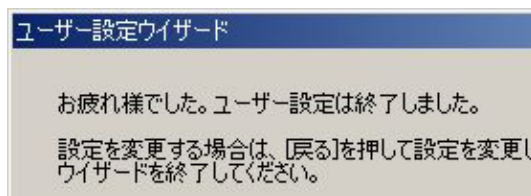


図6: ユーザー設定完了のメッセージ

ユーザー設定ファイルの名前と保存先を指定します。ファイル名は自由に付ける事が出来ますので適当な名前を付けて「保存」をクリックします(図7)。



図7: ファイル名と保存先の指定

Winbiffの接続画面が表示されます。パスワードを入力して正常に動作する事を確認してください(図8)。



図8: パスワード入力画面

次に IMAP ディレクトリを指定するための作業を行います。

Winbiffメイン画面で「よむ?」をクリックします(図9)。



図9: Winbiff メイン画面

メール表示ソフト「ひらめーる」が起動したらプルダウンメニューの「ツール」-「ユーザー設定」をクリックします(図10)。

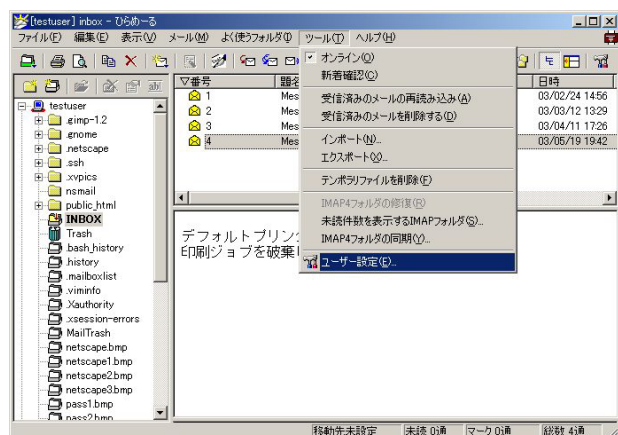


図10: ひらめーる画面

ユーザー設定画面が表示されます。先の手順で登録したアカウントをクリック選択し、「プロパティ」をクリックします(図 11)。

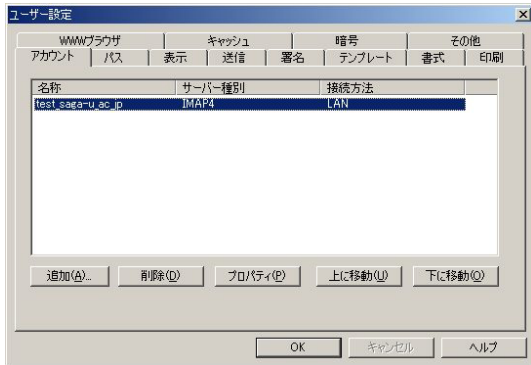


図 11: ユーザー設定画面

「IMAP」タブをクリックします。
「ネームスペース」項目内の「#mh/」にチェックマークを付け、「#shared/」のチェックマークを外します。
「IMAP メールディレクトリ」入力欄でメールディレクトリを指定します(図 12)。

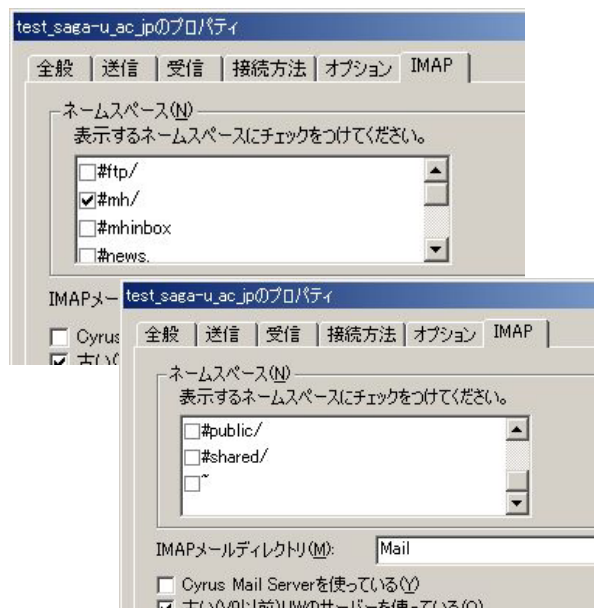


図 12: チェックの変更と IMAP ディレクトリの指定

次に「送信」タブをクリックします。
「SSL を使う」と「メールの送信で認証を用いる (SMTP AUTH)」の両方にチェックマークを付けます(図 13)。

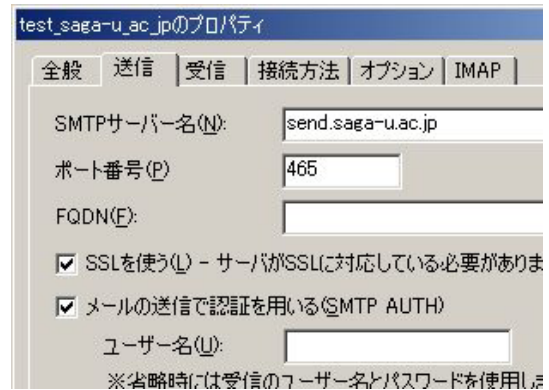


図 13: 送信に SSL と SMTP AUTH を使用

次に「受信」タブをクリックします。
「SSL を使う - サーバがSSLに対応している必要があります」にチェックマークを付けます(図 14)。「OK」をクリックします。

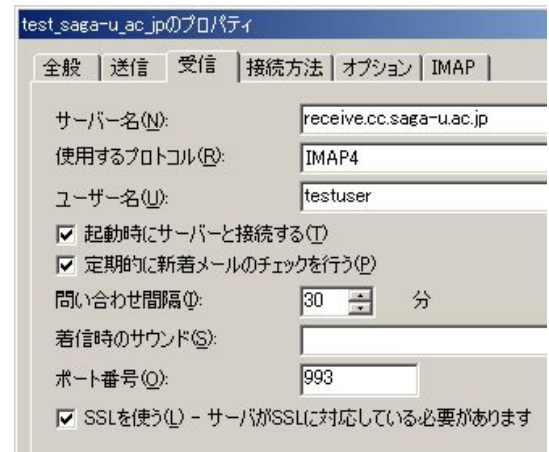


図 14: 受信に SSL を使用

図 11 のユーザー設定画面に戻ってきますので「OK」をクリックします。

以上で新規ユーザの設定は完了です。

3.2 既存ユーザの SSL 追加設定

以下は既に Winbiff を利用しているユーザが SSL, SMTP AUTH を使用するための設定変更手順です。

Winbiff を起動しメイン画面を表示します(図 15)。



図 15: Winbiff メイン画面

まずプルダウンメニューの「ツール」-「オンライン」-「アカウント名」をクリックし、オフライン状態にします。

次にプルダウンメニューの「ツール」-「ユーザー設定」をクリックします。

ユーザー設定画面が表示されたら追加設定をしたいアカウントを選択し「プロパティ」をクリックします(図 16)。

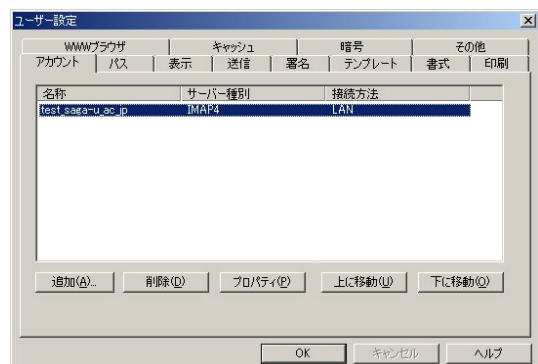


図 16: ユーザー設定画面

「送信」タブをクリックします。

「SSLを使う」と「メールの送信で認証を用いる(SMTP AUTH)」の両方にチェックマークを付けます。

さらに「SMTP サーバー名」を変更します。ここで具体的に入力するサーバのホスト名は総合情報基盤センターまでお尋ねください(図 17)。

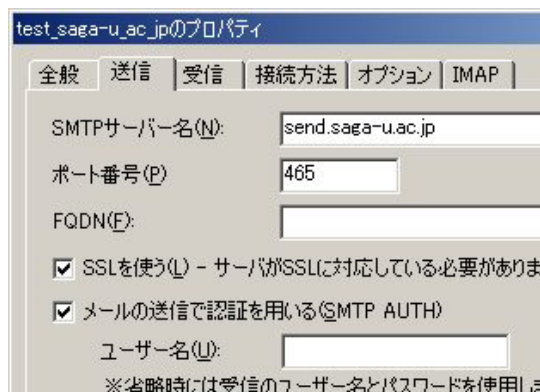


図 17: SMTP サーバー名の変更および送信に SSL と SMTP AUTH を使用

次に「受信」タブをクリックします。

「SSLを使う - サーバがSSLに対応している必要があります」にチェックマークを付けます(図 18)。

「OK」をクリックします。

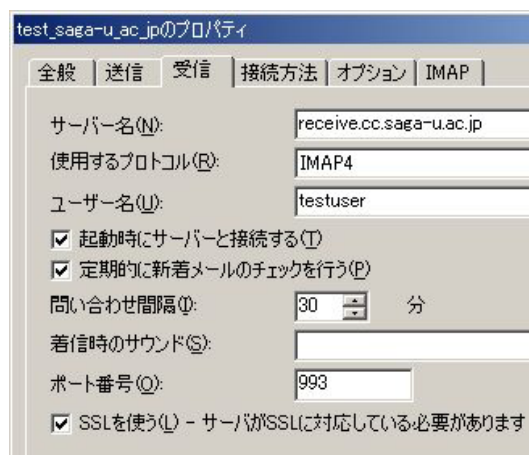


図 18: 受信に SSL を使用

図 16 のユーザー設定画面に戻ってきますので「OK」をクリックします。

Winbiff メイン画面のプルダウンメニューの「ツール」-「オンライン」-「アカウント名」をクリックし、オンライン状態にします。

以上で既存ユーザの SSL 追加設定は完了です。